

研究テーマ名	データベース整備に基づいた日本のラウンドアバウトの実態と事例情報の発信
背景と目的	<p>過去 2 箇年に亘るプロジェクトでは、全国 130 箇所に及ぶ日本のラウンドアバウトの 100 項目に関するデータベースとそれに基づく事例の体系的整理を行うことで、これらの導入経緯、合意形成、適用場面、構造、課題などについての特徴を明らかにしてきた。本プロジェクトは、これらの成果に基づきセミナー開催や website 整備を行うことによって、日本のラウンドアバウトの実態に関する知見と数多くの興味深い事例について情報発信を行う。また、セミナーにおける意見交換を通じて、実務上のニーズや課題についての情報を収集し、データベースの内容にフィードバックを行う。これらにより、道路交通安全と持続可能なまちづくりに寄与する望ましいラウンドアバウトの普及に向けて、IATSS から社会貢献を行うものである。</p>
期待される成果	<p>IATSS での研究成果としての日本のラウンドアバウトの実態に関する情報を広く提供することで、安全安心な道路交通の展開に関する社会貢献を図る。また、IATSS での研究調査活動の社会的貢献を各地でアピールする。</p> <p>ウェブサイトを通じてラウンドアバウトデータベースにオンラインでアクセスできるようすることで、導入を検討している自治体や国民に有益な情報を提供する。これによってラウンドアバウト普及促進協議会の活動をサポートし、適切なラウンドアバウトの普及に貢献する。</p>